

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

事業名 県産アユ利用普及促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部里川振興課水産係 電話番号：058-272-1111(内2913)

E-mail：c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,000 千円 (前年度予算額：1,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,000	358	0	0	0	0	0	0	642
要求額	1,000	358	0	0	0	0	0	0	642
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・平成27年12月、「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定された。
- ・鮎をはじめとした地域の農林水産物・加工品から観光資源までを「長良川ブランド」として、普及啓発していく。
- ・知事の海外トップセールスなどにより岐阜県産鮎の知名度が上昇しており、需要の拡大が期待できる状況にある。
- ・平成30年6月には「清流長良川あゆパーク」が完成し、世界農業遺産の発信拠点としての利用が期待されている。

(2) 事業内容

○学生あゆ料理コンテストの開催

清流長良川あゆパーク・レストランにおけるメニュー候補とするために、栄養・調理を学ぶ県内学生による創作あゆ料理コンテストを開催

(3) 県負担・補助率の考え方

世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会（県、市、業界団体など）の一員として、当該事業は県が取り組む必要がある。

(4) 類似事業の有無

○花生けバトル

主催：岐阜県（農産園芸課内に事務局設置）

目的：花いけの表現力に関する審査を強調し、競争性を高めることで、より多くの若年層の花き文化への関心の高揚を図るため、第2回全国選抜大会を開催する。

○鶏卵鶏肉料理コンクール、豚肉料理レシピコンクール

主催：岐阜県養鶏協会、岐阜県養豚協会、岐阜女子大学

県：中小家畜生産強化支援事業費補助金

目的：消費拡大を目的とした活動。受賞作品は協会のリーフレット及びホームページ等で公表。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報酬費	105	審査員報償費
旅費	22	業務旅費
旅費	37	費用弁償
需用費	70	賞状及び副賞購入費
役員費	33	通信使、賞状筆耕費
使用料及び賃借料	17	会場使用料
業務委託料	716	コンテストの運営委託
合計	1,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画（令和3年～令和7年度）

第5章 政策の方向性

1 基本方針ごとの重点施策と主な取組み

(3) ぎふ農畜水産物のブランド展開

⑥ 鮎を守り育てる体制の構成

第7章 主要品目別施策

(19) 淡水魚

(2) 後年度の財政負担

岐阜県産鮎の販路拡大及び国内外への周知のため、継続的な事業の実施が必要となってくる。

(3) 事業主体及びその妥当性

「清流長良川の鮎」を国内外に広くPRすることや、清流長良川あゆパークを活用した県内水産物の需要拡大は、県が積極的に推進する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 周期の令和7年度に淡水魚の養殖生産量1,500tを達成

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R元)	R2年度 実績 (暫定)	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
						達成率
淡水魚の養殖生産量	1,262t	1,269t	1,300t	1,450t	1,500t	85%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<取り組み内容> 学生あゆ料理コンテスト応募118作品から入賞22作品を選定 <事業の成果、今後見込まれる成果> ① 創作あゆ料理を通しての世界農業遺産「清流長良川の鮎」のPR ② 清流長良川あゆパーク・レストランにおけるメニュー開発（候補：令和2年度学生あゆ料理コンテスト入賞22作品の中から2作品）
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	「清流長良川の鮎」を国内外に広くPRすることや、清流長良川あゆパークを活用した県内水産物の需要拡大は、県が積極的に推進する必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	応募数について、新型コロナウイルス感染症の影響により118作品に減少したものの、3年連続で100作品以上の応募があり、清流長良川あゆパーク・レストランでメニュー化する等、事業の成果があがっている。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
